

2 家畜衛生対策事業

(1) 監視・危機管理体制整備対策事業

ア 家畜伝染病防疫対応強化事業

飼養衛生管理の向上を図るため、家畜飼養者等に対する衛生管理指導を実施した。

実施内容	実施回数・戸数	対象
高病原性鳥インフルエンザ防疫研修会	3回	市町、警察、農協、県関係機関

イ 家畜衛生関連情報整備対策事業

家畜衛生に関する対策及び疾病の発生状況等の情報を収集・分析し報告した。

区分	対象農家数(延)	報告回数	備考
情報の収集	247	28	病性鑑定等から情報収集

ウ 診断予防技術向上対策事業

近年問題となっているヨーネ病(牛)に関する診断法の迅速化、高度化及び最新予防技術の確立を図るため、調査を実施した。

実施疾病	対象家畜	検査戸数	検査頭数	陽性頭数	備考
ヨーネ病	牛	12	76	6	

エ まん延防止円滑化対策

豚のオーエスキー病の清浄化を推進するため、養豚農家、市町担当職員、農協等職員、開業獣医師等を対象に、防疫措置について会議を開催した。

疾病名	回数	出席人数	内容
オーエスキー病	2	68	栃木県豚オーエスキー病防疫対策実施要領に基づく防疫対策の進ちょく状況

オ 動物由来感染症監視体制整備事業(畜産型)

畜産現場における豚レンサ球菌症の監視体制を確立するため、豚のレンサ球菌の保有状況を調査した。

実施疾病	対象家畜	検査戸数	検査頭数	陽性頭数	備考
豚レンサ球菌症	豚	3	4	0	

(2) 慢性疾病等低減対策事業

飼養形態の多様化に伴い、混合感染症、不顕性に経過する慢性疾病等の発生が増加し、経済的損失が問題となっていることから、これら生産性を阻害する疾病群について、その発生動向を把握するための調査、検査を実施した。

畜種	調査対象疾病	調査戸数	調査頭羽数	備考
豚	呼吸器病	7	245	
牛	下痢症	1	50	

(3) 畜産物安全性確保対策事業

ア 生産衛生管理体制整備事業

食品の安全性確保手法として優れたHACCP（危害度分析重要管理点）方式を家畜の生産段階に導入し、農家における安全性確保体制を整備するため、調査・検査及び指導を実施した。

実施区域	実施戸数	実施回数	備考
大田原市、那須町	3	7	養豚農家を対象に実施

イ 動物用医薬品危機管理対策事業

(ア) 医薬品の検査

不良な動物用医薬品を排除し、流通段階にある動物用医薬品の品質確保を図るため、動物用医薬品販売業者への立入検査・指導及び動物用医薬品の品質確保検査を実施した。

販売業者店舗数	立入検査・指導		品質検査実施動物用医薬品	備考
	対象店舗数	実施店舗数		
64	64	30	AD3E注「文永堂」	合格

(イ) 薬剤耐性菌の発現状況調査

抗菌剤の人と動物の健康に対するリスク分析の基礎資料を得ることを目的とし、薬剤耐性菌の発現状況調査を実施した。

対象細菌	対象農家数	対象頭数	対象家畜	備考
カンピロバクター	7	7	牛、豚、鶏	

3 その他の事業

(1) 薬事法関連

飼育動物の疾病予防・治療等に用いられる動物用医薬品が、適正に製造、販売及び使用されるよう、薬事法（昭和35年法律第145号）の規定に基づき、製造業等の申請受付業務、販売業許認可業務及び監視・指導を実施した。

ア 動物用生物学的製剤国家検定業務

検定対象品目数	製造ロット数	検定抜き取り回数	開封回数
16	41	41	32

イ 動物用医薬品等販売業許認可業務

区分	新規	更新	許可証書換交付	許可証再交付	廃止
店舗販売業	0	0	0	0	0
卸売店舗販売業	0	0	0	0	0
特例店舗販売業	2	11	3	0	2
高度管理医療機器販売業	0	0	0	0	1
管理医療機器販売業（届出）	1	—	—	—	0
計	3	11	3	0	3